

市政に対する質問

1 就職氷河期世代の就職支援について

質 問	回 答
①就職氷河期世代に対し国が雇用支援方針を決めました。これを受けて所沢市としては何らかの方針は考えていますでしょうか？	就職氷河期世代に対しての所沢市職員採用における方針につきましては、現時点では、国や周辺自治体の動向を注視している段階であり、具体的な検討には至っていないところでございます。また、採用枠についても検討はしていません。
②所沢市で対象者の中途採用枠は予定していますでしょうか？	
③所沢市において今回の就職氷河期世代の対象者はどのくらいの数が見込んでいますか？	本市における対象者数については、把握しておりません。

2 生活保護の実態について

質 問	回 答
<p>①過去5年間の生活保護受給者の推移はどのようになっていますか？</p>	<p>平成26年度が、3,525世帯で4,966人、 平成27年度が、3,623世帯で5,009人、 平成28年度が、3,702世帯で5,032人、 平成29年度が、3,725世帯で4,978人、 平成30年度が、3,730世帯で4,904人、でした。</p>
<p>②生活保護受給者の多さは、世間の景気悪化、高齢者の年金受給額減少などが要因と考えてよいでしょうか？ほかに考えられる要因はありますか？</p>	<p>生活保護の世帯数や受給者数の増減は、景気の動向の他に、単身世帯の増加が著しいことも要因と考えます。</p>
<p>③把握している範囲で構いません。生活保護から抜けた方で就労した方の人数はわかりますか？その中で本人の希望に沿った職にはつけていますか？</p>	<p>平成30年度では、128世帯ございました。 希望に沿った職につけたかどうかは、わかりません。</p>
<p>④現在景気の悪化による正社員の削減、社会保障費の増加による年金削減等、今後も生活保護申請は増大が見込まれます。自治体として所沢市としてはどのような対応が可能と考えられますか？</p>	<p>生活保護の申請に至る前の方や、生活保護から自立した方に対しての相談や支援を行う生活困窮者自立相談支援制度と生活保護制度を一体的に運用することが重要であると考えております。</p>